



## 図書館活動報告特集

### 巻頭コラム

# 最も英語らしくなった

米国の作家スコット・フィッツジェラルド (1896–1940) の作品に、ハリウッドの映画界を舞台とした *The Last Tycoon* (1941) という未完の小説がある。1976年には「ラスト・タイクーン」という映画にもなった。海運王と社交界のファースト・レディとのロマンスを下敷きにした「愛はエーゲ海に燃ゆ」という1978年の映画の英語名も *The Greek Tycoon* である。新聞・雑誌等でも *business tycoon* (大実業家)、*media tycoon* (メディア王)、*oil tycoon* (石油王)、*publishing tycoon* (出版界の大御所) などという表現を日常的に目にする。それほど一般的な *tycoon* という英語が実は日本語からの借用語であることを知る英米人はそれほど多くない。まして日本人は、である。真に英語化した数少ない日本語起源の最たるものと言っても過言ではない。

そもそも *tycoon* という語は、徳川幕府の将軍に対する外国人の呼称である。文献上は、米国の外交官で駐日総領事であった T. Harris の日記 (1857) に初出する。その時の意味は「大君」、すなわち「将軍」である。それが、数年後の1861年には第16代大統領リンカーンのニックネームに使われ、やがて「(実業界・政界の) 巨頭、大物」の意味で一般化する。今日では本来の意味はほぼ忘れられ、「(各界の) 巨頭、大物」の意味が定着している。英米の辞書の中にはもはや日本語の原義を載せていないものもある。綴りも日本語風に *taikun* ではなく *tycoon*、発音も「タイクン」ではなく「タイクーン [taikú:n]」と第2音節に強勢を置く。複数形は *tycoons*、派生語として女性形の *tycooness* のほかに *tycoonery*, *tycoonish*, *tycoonship* などがある。400を

超えるといわれる日本語からの借用語のうち、綴り、発音、意味等どれをとってもこれ程英語化した日本語はないのではなかろうか。

先日このことを経済学者の友人と話していたら、逆に、英語が完全に日本語化した例が「簿記」ということばだと教えられた。英語の *book-keeping* に由来するのだという。全く知らなかった。いずれ借用の過程を調べて見たいと思っている。

(文学部教授 田島松二)



7/18 オープンキャンパス

## 図書館展示 + 資格系展示

7月18日に行われた別府大学オープンキャンパスですが、今年も本館1・2階を使い、図書館と資格系課程の展示を行いました。台風の影響によりあいにくの暴風雨でしたが、館内は個人や学科ごとで訪れた高校生で賑わいました。各学科の先生や在学生の話を熱心に聞いたり質問したりと、高校生も興味深い様子で見学していました。

## 1階

図書館の主な展示：

貴重書公開、大学案内ビデオ上映、学科関連図書コーナー、談話スペース、FOBUL活動紹介展示、別大写真アーカイブズ

## 2階



## 教職課程

主な展示：戦前の副読本・現代の教科書・学習指導要領などの現物展示、模擬授業風景の上映



## 学芸員

主な展示：学芸員の仕事説明、学芸員関連図書、軒瓦・出土物の現物展示



## 司書課程

主な展示：司書課程卒業生の図書館就職先一覧・仕事風景の写真パネル、司書採用情報



## アーキビスト

主な展示：別府古地図・古文書の現物展示と説明パネル

## FOBUL

設営準備から展示、案内、雨の中での呼び込みなどを手伝ってくれたFOBUL(図書館同好会)の皆さん。彼らの活躍は次号でも詳しくご紹介します！





ザスパ草津戦 (4月)

今、図書館では『バトル・オブ・スパ～図書館で温泉ダービー?!～』という展示を不定期に開催しています。これは“サッカー J2 のチームがあり、かつ有名な温泉地を持つ地域”の図書館が共同で行っている企画です。今年は愛媛、草津、鳥取、佐賀、大分が参加し、熱い戦いを繰り広げています。展示期間は不定期ですが、大分トリニータがいずれかのチームとホームで戦う日のおおよそ 10 日前から試合当日までです。展示では主に相手チームの情報や、観光、「温泉へ誘う 11 冊の本」の紹介をしています。



バトルというからにはもちろん勝ち負けがあります。別府大学の図書館の参加は今年からですが、宇佐市民図書館さんが参加していた去年は愛媛 FC の優勝で幕を閉じています。参加地域が増えてより熾烈になった戦いは、シーズン半ばを過ぎて大分は最下位。しかしまだ 5 試合を残していますので、ぜひ巻き返しを目指してほしいところです。次回は 9 月 17 日 大分トリニータ VS サガン鳥栖です。皆さんも図書館で大分トリニータとサガン鳥栖の事を知ってから、スタジアムに応援に行ってみてはいかがでしょうか。そうして生の試合の魅力を知ったら、つぎは観光情報を手にぜひアウェイ観戦へ。

(文・展示担当：泉)



ガイナレ鳥取戦 (6月)

## 朝一朝活終了のお知らせ

2010 年 7 月より一年間、試行を続けてまいりました「朝一朝活運動」(朝 8 時開館)ですが、利用者平均が 10 人弱程度と、活性化に結びつくまでには至りませんでした。

図書館運営委員会の承諾を得、朝一朝活運動は **2011 年 8 月 5 日をもって終了となりました。**ご利用、誠にありがとうございました。

今後は通常通り、8 時 30 分からの開館 (試験期間中のみ 8 時開館) とさせていただきます。なお、シラバス掲載図書の配架や選書ツアー、図書館見学ツアーなどその他の図書館サービスは従来通り実施しております。皆さまのご利用、お待ちしております。





## 別大写真アーカイブズ

～昭和20・30年代の別府大学～

2008年に100周年を迎えた別府大学。女子大学等を経て、現在の別府大学となった歴史をご存知ですか？昭和20～30年代の大学とその周辺がどんな様子だったのか、当時の貴重な写真をパネルで展示公開中です。学生の登校風景や今は無き木造校舎、別府の空撮写真など、懐かしさの中に新しい発見があるかもしれません。展示は図書館1階にて、9月中旬まで。

## うちわ館内貸出 はじめました！

今年は全国的に節電が推奨されていますが、9月に入っても、まだまだ残暑が続いています。図書館利用の際も冷房を28℃に設定を心掛けており、皆さまのご協力、誠に感謝しております。

より快適に過ごしていただくために、放送大学さん提供のもと、7月よりうちわの貸出をはじめました！緑と赤の丸ごとスイカ柄が目印です。図書館1～3階、各階1箇所ずつ設置しておりますので、ご自由にお使いください。ただし館外への持ち出しはご遠慮ください！



うちわを提供してくださった放送大学大分SCさん、ご協力ありがとうございます！

### ～編集後記～

カレンダーはいつの間にか9月に変わり、そろそろこの暑さも和らいでくれたらと思う毎日です。夏休み中に行われている司書講習もいよいよ終盤に差し掛かりました。体調管理をしっかりと、残暑を乗り切りたいと思います！ 小野

### 次号予告

第12号は7月に行われた「図書館見学ツアー」特集を掲載予定です。お楽しみに。

ARGONAUTES かわら版 第11号

新入生歓迎特集

2011年9月2日発行

編集・発行：別府大学附属図書館

〒874-8501 別府市大字北石垣 82

電話：0977-66-9633 FAX：0977-66-9632

別府大学附属図書館ホームページ

<http://www.beppu-u.ac.jp/library/>

携帯版OPAC（蔵書検索）

<http://lib-opac.beppu-u.ac.jp/mobileopac>

